

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年5月15日

会社名 株式会社 西京銀行  
 代表者 取締役頭取 平岡 英雄  
 問合せ先責任者 専務取締役総合企画部長 松岡 健  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

URL <http://www.saikyobank.co.jp/>

TEL (0834)31-1211 (代表)  
 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切り捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	27,377	△7.2	4,996	△12.5	2,963	△8.6
2019年3月期	29,528	1.7	5,711	△14.6	3,243	△23.6

(注) 包括利益 2020年3月期 239百万円(△92.8%) 2019年3月期 3,347百万円(△5.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	23 56	— —	3.9	0.3	18.2
2019年3月期	25 98	— —	4.3	0.3	19.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,629,976	74,144	4.5	548 18
2019年3月期	1,600,556	75,015	4.6	555 66

(参考) 自己資本 2020年3月期 74,144百万円 2019年3月期 75,015百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率規制に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△6,872	8,952	△1,126	140,911
2019年3月期	3,920	33,547	△4,138	139,956

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	— —	0 00	— —	7 50	7 50	867	28.8	1.3
2020年3月期	— —	0 00	— —	5 00	5 00	578	21.2	0.9
2021年3月期 (予想)	— —	0 00	— —	5 00	5 00		20.2	

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係が異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結 累計期間	12,800	△7.9	2,200	21.5	1,400	37.7	12 10
通 期	25,200	△7.9	4,700	△5.9	3,100	4.5	24 74

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

新規 - 社 除外 - 社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 無  
 ④ 修正再表示 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 2020年3月期 115,967,044株 2019年3月期 115,967,044株  
 ② 期末自己株式数 2020年3月期 300,879株 2019年3月期 290,096株  
 ③ 期中平均株式数 2020年3月期 115,671,249株 2019年3月期 115,690,519株

（参考）個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前年増減率）

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	26,342	△6.3	4,752	△12.0	2,932	△7.7
2019年3月期	28,133	1.8	5,403	△14.4	3,178	△22.6

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期	23	29	-	-
2019年3月期	25	41	-	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,631,283	73,733	4.5	544 63
2019年3月期	1,588,457	74,622	4.6	552 26

（参考）自己資本 2020年3月期 73,733百万円 2019年3月期 74,622百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権）を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 累計期間	12,500	△7.3	2,200	16.3	1,400	14.4	12 10	
通期	24,400	△7.3	4,500	△5.3	3,000	2.3	23 88	

※ 決算短信は監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金の総額は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計	
第二種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
2019年3月期	— —	— —	— —	20 00	20 00	100
2020年3月期	— —	— —	— —	20 00	20 00	100
2021年3月期 (予想)	— —	— —	— —	20 00	20 00	

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計	
第三種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
2019年3月期	— —	— —	— —	25 00	25 00	137
2020年3月期	— —	— —	— —	25 00	25 00	137
2021年3月期 (予想)	— —	— —	— —	25 00	25 00	

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 経営成績に関する分析	1
(2) 財政状態に関する分析	1
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	21
決算説明資料	23

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する分析

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費や企業収益など足下で大幅に下押しされており、今後の内外経済のさらなる下振れリスクに十分注意する必要があります。

当行の主たる経営基盤である山口県においても、新型コロナウイルス感染症などの影響から、個人消費は弱めの動きとなっており、今後は、感染症が企業や家計のマインドに与える影響を注視していく必要があります。

こうした中、当行では、中期経営計画の長期ビジョンである「地域に根差した中小・小規模事業者さまと個人のお客さまのための銀行」の実現に向けた施策に積極的に取り組み、事業承継やM&A、企業と高度外国人材のマッチングサポート、全国最高レベルの高金利預金商品の販売など、「さすが西京」と呼んでいただける商品、サービスの提供を進めています。

また、主たる営業エリアである山口県、福岡県、広島県の地元のお客さまからお預かりした大切なご預金を、資金を必要とされる当地域の事業者さまや個人のお客さまに借入金としてお使いいただく「資金の地域内循環」を引き続き推進しております。

当連結会計年度においては、寄付金付き「銀行保証私募債」の取扱いを開始し、地元企業と共に、地域社会の発展や課題解決のための資金を地方公共団体や学校等に贈呈するほか、高齢化社会の課題である認知症対策として民事信託商品「家族の”絆”サポート」の発売など、新たな取り組みを開始しました。

さらに、企業の働く人不足に対応するため、以前より継続している、全国の大学生を対象とした観光や就農体験と地元企業訪問を組み合わせたツアー「若旅inやまぐち」や、海外展開を目指す企業の採用ニーズに対応するため、企業と留学生をマッチングする「DISCOVER YAMAGUCHI」の開催により、人口減少が進む山口県において県外学生の就職や留学生の雇用・定住を実現させています。

こうした活動に取り組んだ結果、当連結会計年度は次のような営業成績となりました。

損益状況につきましては、経常収益は役務取引等収益、有価証券利息配当金及び株式等売却益の減少により21億51百万円（7.28%）減少して273億77百万円になりました。

経常費用は、営業経費及び国債等債券償却の減少により14億36百万円（6.03%）減少して223億80百万円になりました。

以上により、経常利益は前連結会計年度から7億14百万円（12.51%）減益の49億96百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益においては2億80百万円（8.63%）減益の29億63百万円となりました。

連結自己資本比率（国内基準）は、分子となる自己資本額を順調に積み上げたことに伴い、前連結会計年度より0.15ポイント上昇し、7.97%となりました。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ①資産、負債及び純資産の状況

預金は、「さいきょう年金定期預金」を中心にキャンペーン商品がご好評いただき、前連結会計年度より404億円（2.73%）増加し、期末残高は1兆5,205億円となりました。

貸出金は、地元の事業性貸出や住宅ローンを中心に期中459億円（3.83%）増加し、期末残高は1兆2,458億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度より140億円（6.30%）減少し、期末残高は2,085億円となりました。

以上を主因に、総資産は前連結会計年度より294億円（1.83%）増加し、期末残高は1兆6,299億円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローにおいて68億72百万円の使用（前連結会計年度は39億20百万円の獲得）、投資活動によるキャッシュ・フローにおいて89億52百万円の獲得（前連結会計年度は335億47百万円の獲得）、財務活動によるキャッシュ・フローにおいて11億26百万円の使用（前連結会計年度は41億38百万円の使用）となり、当連結会計年度における資金残高は、1,409億11百万円（前連結会計年度は1,399億56百万円）となりました。

なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、68億72百万円（前連結会計年度は39億20百万円の獲得）となりました。これは主に預金の純増404億77百万円に対し、貸出金の純増459億61百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は、89億52百万円（前連結会計年度は335億47百万円の獲得）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出425億3百万円に対し、有価証券の売却による収入244億70百万円及び有価証券の償還による収入が287億50百万円であったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、11億26百万円（前連結会計年度は41億38百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額11億5百万円があったことによるものであります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当行は、従来より公共性の高い金融機関である特性を考慮し、長期にわたり安定的な経営基盤を確保するとともに、配当につきましても安定的に継続することを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、5円00銭として定時株主総会に議案として提出する予定であります。

2021年3月期の1株当たり配当金につきましては、5円00銭以上の配当を確保する計画としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループは、企業間及び経年での連結財務諸表の比較可能性を確保するため、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	140,230	141,137
買入金銭債権	537	485
商品有価証券	70	69
金銭の信託	100	1,153
有価証券	222,589	208,564
貸出金	1,199,889	1,245,851
外国為替	2,738	3,044
その他資産	25,900	21,304
有形固定資産	10,924	10,300
建物	4,028	3,646
土地	6,060	5,888
リース資産	41	52
建設仮勘定	0	80
その他の有形固定資産	792	632
無形固定資産	2,150	2,010
ソフトウェア	2,058	1,976
その他の無形固定資産	92	33
繰延税金資産	301	1,473
支払承諾見返	873	926
貸倒引当金	△5,752	△6,344
資産の部合計	1,600,556	1,629,976
負債の部		
預金	1,480,070	1,520,547
コールマネー及び売渡手形	—	2,161
債券貸借取引受入担保金	5,529	5,231
借入金	22,308	10,000
外国為替	—	0
社債	2,000	2,000
その他負債	10,928	11,171
退職給付に係る負債	2,685	2,662
役員退職慰労引当金	2	3
睡眠預金払戻損失引当金	169	175
利息返還損失引当金	—	4
偶発損失引当金	102	125
再評価に係る繰延税金負債	869	821
支払承諾	873	926
負債の部合計	1,525,541	1,555,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
資本金	23,497	23,497
資本剰余金	19,146	19,146
利益剰余金	27,050	28,981
自己株式	△108	△113
株主資本合計	69,587	71,512
その他有価証券評価差額金	4,231	2,153
繰延ヘッジ損益	△163	△795
土地再評価差額金	1,690	1,618
退職給付に係る調整累計額	△331	△345
その他の包括利益累計額合計	5,427	2,631
純資産の部合計	75,015	74,144
負債及び純資産の部合計	1,600,556	1,629,976



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	29,528	27,377
資金運用収益	22,490	22,112
貸出金利息	19,020	19,000
有価証券利息配当金	3,196	2,859
コールローン利息及び買入手形利息	0	△0
債券貸借取引受入利息	10	0
預け金利息	66	66
その他の受入利息	196	185
役務取引等収益	4,849	3,626
その他業務収益	692	596
その他経常収益	1,495	1,041
その他の経常収益	1,495	1,041
経常費用	23,817	22,380
資金調達費用	3,798	3,848
預金利息	3,364	3,566
譲渡性預金利息	0	0
コールマネー利息及び売渡手形利息	△12	△0
債券貸借取引支払利息	225	111
借入金利息	127	75
社債利息	40	25
その他の支払利息	52	70
役務取引等費用	4,979	5,071
その他業務費用	618	22
営業経費	11,842	11,405
その他経常費用	2,578	2,032
貸倒引当金繰入額	1,872	1,464
その他の経常費用	705	568
経常利益	5,711	4,996
特別利益	4	15
固定資産処分益	4	15
特別損失	122	428
固定資産処分損	11	24
減損損失	110	404
税金等調整前当期純利益	5,593	4,583
法人税、住民税及び事業税	2,029	1,798
法人税等調整額	320	△178
法人税等合計	2,349	1,619
当期純利益	3,243	2,963
親会社株主に帰属する当期純利益	3,243	2,963

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,243	2,963
その他の包括利益	103	△2,724
その他有価証券評価差額金	291	△2,078
繰延ヘッジ損益	△215	△631
退職給付に係る調整額	28	△13
包括利益	3,347	239
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,347	239

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	23,497	19,146	25,078	△92	67,630
当期変動額					
剰余金の配当			△1,105		△1,105
親会社株主に帰属する当期純利益			3,243		3,243
自己株式の取得				△15	△15
土地再評価差額金の取崩			△165		△165
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,972	△15	1,956
当期末残高	23,497	19,146	27,050	△108	69,587

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,940	52	1,524	△359	5,158	72,788
当期変動額						
剰余金の配当						△1,105
親会社株主に帰属する当期純利益						3,243
自己株式の取得						△15
土地再評価差額金の取崩						△165
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	291	△215	165	28	269	269
当期変動額合計	291	△215	165	28	269	2,226
当期末残高	4,231	△163	1,690	△331	5,427	75,015

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	23,497	19,146	27,050	△108	69,587
当期変動額					
剰余金の配当			△1,105		△1,105
親会社株主に帰属する当期純利益			2,963		2,963
自己株式の取得				△5	△5
土地再評価差額金の取崩			72		72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計			1,931	△5	1,925
当期末残高	23,497	19,146	28,981	△113	71,512

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,231	△163	1,690	△331	5,427	75,015
当期変動額						
剰余金の配当						△1,105
親会社株主に帰属する当期純利益						2,963
自己株式の取得						△5
土地再評価差額金の取崩						72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,078	△631	△72	△13	△2,796	△2,796
当期変動額合計	△2,078	△631	△72	△13	△2,796	△871
当期末残高	2,153	△795	1,618	△345	2,631	74,144

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,593	4,583
減価償却費	1,081	1,059
減損損失	110	404
のれん償却額	77	—
貸倒引当金の増減(△)	1,340	592
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△76	△23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
睡眠預金払戻損失引当金の増減額(△は減少)	△5	6
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	△28	22
資金運用収益	△22,490	△22,112
資金調達費用	3,798	3,848
有価証券関係損益(△)	△1,049	△1,114
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	464	49
為替差損益(△は益)	33	20
固定資産処分損益(△は益)	7	8
貸出金の純増(△)減	△98,364	△45,961
預金の純増減(△)	103,712	40,477
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	1,291	△12,308
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	2	47
コールローン等の純増(△)減	192	52
コールマネー等の純増減(△)	—	2,161
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	△6,861	△297
外国為替(資産)の純増(△)減	△819	724
外国為替(負債)の純増減(△)	—	0
資金運用による収入	22,365	22,548
資金調達による支出	△3,154	△3,032
その他	△1,076	3,419
小計	6,147	△4,822
法人税等の支払額	△2,226	△2,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,920	△6,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△55,347	△42,503
有価証券の売却による収入	61,653	24,470
有価証券の償還による収入	26,516	28,750
金銭の信託の増加による支出	△100	△1,083
金銭の信託の減少による収入	1,807	—
有形固定資産の取得による支出	△841	△444
無形固定資産の取得による支出	△342	△465
有形固定資産の売却による収入	201	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,547	8,952

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
劣後特約付社債の償還による支出	△3,000	—
配当金の支払額	△1,105	△1,105
自己株式の取得による支出	△15	△5
その他	△17	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,138	△1,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33,329	954
現金及び現金同等物の期首残高	106,627	139,956
現金及び現金同等物の期末残高	139,956	140,911

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心に、個別信用購入あっせん業等の金融サービスに係る事業を行っております。従いまして、当行グループは金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「個別信用購入あっせん業」の2つを報告セグメントとしております。

銀行業務は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務を行っております。「個別信用購入あっせん業」は連結子会社の西京カード㈱において金融サービスの一環として行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	銀行業	個別信用 購入あつ せん業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収 益	27,212	2,249	29,462	66	29,528	—	29,528
セグメント間の内部経常 収益	921	0	921	458	1,380	△1,380	—
計	28,133	2,250	30,383	525	30,909	△1,380	29,528
セグメント利益	5,403	577	5,981	65	6,046	△335	5,711
セグメント資産	1,588,457	17,328	1,605,785	2,398	1,608,184	△7,628	1,600,556
セグメント負債	1,513,835	16,413	1,530,249	92	1,530,341	△4,800	1,525,541
その他の項目							
減価償却費	1,051	25	1,077	9	1,086	△4	1,081
のれんの償却額	—	77	77	—	77	—	77
資金運用収益	22,854	41	22,896	47	22,943	△453	22,490
資金調達費用	3,671	190	3,861	—	3,861	△62	3,798
特別利益	4	—	4	0	4	—	4
特別損失	122	0	122	0	122	△0	122
(固定資産処分損)	11	0	11	0	11	△0	11
(減損損失)	110	—	110	—	110	—	110
税金費用	2,107	203	2,310	40	2,350	△1	2,349
有形固定資産および無形 固定資産の増加額	1,152	27	1,179	15	1,194	△5	1,188

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、債権管理回収業やベンチャーキャピタル業等であります。

3 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント経常収益調整額の△1,380百万円は、セグメント間取引消去による減額1,380百万円であります。

(2) セグメント利益調整額の△335百万円は、セグメント間取引消去による減額335百万円であります。

(3) セグメント資産の調整額の△7,628百万円は、退職給付に係る調整額の繰延税金資産の計上による増加145百万円及びセグメント間取引消去による減額7,773百万円であります。

(4) セグメント負債の調整額の△4,800百万円は、退職給付に係る負債の計上による増加476百万円及びセグメント間取引消去による減額5,276百万円であります。

4 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5 減価償却費の調整額△4百万円、資金運用収益の調整額△453百万円、資金調達費用の調整額△62百万円、特別損失の調整額△0百万円、税金費用の調整額△1百万円、有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額△5百万円はセグメント間取引消去であります。



当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	個別信用 購入あっ せん業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	25,504	1,818	27,322	54	27,377	—	27,377
セグメント間の内部経常収益	838	0	838	603	1,442	△1,442	—
計	26,342	1,818	28,161	658	28,819	△1,442	27,377
セグメント利益	4,752	626	5,378	89	5,468	△472	4,996
セグメント資産	1,631,283	14,121	1,645,405	1,822	1,647,227	△17,251	1,629,976
セグメント負債	1,557,549	13,188	1,570,738	89	1,570,827	△14,995	1,555,832
その他の項目							
減価償却費	1,026	30	1,057	7	1,064	△4	1,059
資金運用収益	22,685	43	22,728	37	22,766	△653	22,112
資金調達費用	3,773	251	4,024	—	4,024	△176	3,848
特別利益	15	—	15	—	15	—	15
特別損失	428	0	428	—	428	△0	428
(固定資産処分損)	23	0	24	—	24	△0	24
(減損損失)	404	—	404	—	404	—	404
税金費用	1,407	187	1,594	26	1,620	△0	1,619
有形固定資産および無形 固定資産の増加額	922	17	940	0	940	△4	936

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、債権管理回収業やベンチャーキャピタル業等であります。

3 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント経常収益調整額の△1,442百万円は、セグメント間取引消去による減額1,442百万円であります。

(2) セグメント利益調整額の△472百万円は、セグメント間取引消去による減額472百万円であります。

(3) セグメント資産の調整額の△17,251百万円は、退職給付に係る調整額の繰延税金資産の計上による増加142百万円及びセグメント間取引消去による減額17,394百万円であります。

(4) セグメント負債の調整額の△14,995百万円は、退職給付に係る負債の計上による増加468百万円及びセグメント間取引消去による減額15,463百万円であります。

4 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5 減価償却費の調整額△4百万円、資金運用収益の調整額△653百万円、資金調達費用の調整額△176百万円、特別損失の調整額△0百万円、税金費用の調整額△0百万円、有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額△4百万円はセグメント間取引消去であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券 投資業務	役務取引業務	その他	合計
外部顧客に対する 経常収益	19,020	4,843	4,849	815	29,528

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券 投資業務	役務取引業務	その他	合計
外部顧客に対する 経常収益	19,000	4,174	3,626	575	27,377

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	個別信用 購入あっ せん業	計				
減損損失	110	—	110	—	110	—	110

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	個別信用 購入あっ せん業	計				
減損損失	404	—	404	—	404	—	404

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	個別信用 購入あっ せん業	計				
のれんの償却額	—	77	77	—	77	—	77
のれんの未償却残高	—	—	—	—	—	—	—

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	円	555.66	548.18
1株当たり当期純利益	円	25.98	23.56
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	円	—	—

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額	百万円	75,015	74,144
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	10,737	10,737
うち第二種優先株式払込金額	百万円	5,000	5,000
うち第二種優先株式配当額	百万円	100	100
うち第三種優先株式払込金額	百万円	5,500	5,500
うち第三種優先株式配当額	百万円	137	137
うち非支配株主持分	百万円	—	—
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	64,277	63,406
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数	千株	115,676	115,666

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	3,243	2,963
普通株主に帰属しない金額	百万円	237	237
うち定時株主総会決議による優先配当額	百万円	237	237
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	3,006	2,726
普通株式の期中平均株式数	千株	115,690	115,671

(注) 3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
現金預け金	140,177	141,108
現金	29,021	23,539
預け金	111,156	117,569
買入金銭債権	378	320
商品有価証券	70	69
商品国債	70	69
金銭の信託	100	1,153
有価証券	224,154	210,073
国債	53,116	57,513
地方債	44,550	46,586
社債	28,455	24,684
株式	11,827	10,459
その他の証券	86,204	70,830
貸出金	1,202,954	1,258,127
割引手形	3,837	2,913
手形貸付	35,153	25,920
証書貸付	1,077,086	1,125,789
当座貸越	86,876	103,505
外国為替	2,738	3,044
外国他店預け	2,738	3,044
その他資産	9,570	9,157
未決済為替貸	42	16
前払費用	1,246	1,146
未収収益	1,824	1,607
金融派生商品	18	75
その他の資産	6,438	6,313
有形固定資産	10,907	10,285
建物	4,028	3,646
土地	6,060	5,888
リース資産	41	52
建設仮勘定	0	80
その他の有形固定資産	775	616
無形固定資産	2,083	1,961
ソフトウェア	1,990	1,928
その他の無形固定資産	92	33
前払年金費用	—	62
繰延税金資産	143	1,308
支払承諾見返	873	926
貸倒引当金	△5,696	△6,315
資産の部合計	1,588,457	1,631,283

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
預金	1,481,411	1,522,948
当座預金	16,926	19,580
普通預金	407,126	417,256
貯蓄預金	15,378	14,280
通知預金	2,980	1,570
定期預金	1,020,277	1,044,848
定期積金	2,414	2,373
その他の預金	16,307	23,039
コールマネー及び売渡手形	—	2,161
債券貸借取引受入担保金	5,529	5,231
借入金	10,008	10,000
借入金	10,008	10,000
外国為替	—	0
未払外国為替	—	0
社債	2,000	2,000
その他負債	10,665	10,933
未決済為替借	95	29
未払法人税等	808	502
未払費用	5,456	6,260
前受収益	467	416
給付補填備金	1	1
金融派生商品	383	1,764
リース債務	41	51
資産除去債務	101	90
その他の負債	3,309	1,818
退職給付引当金	2,204	2,223
睡眠預金払戻損失引当金	169	175
偶発損失引当金	102	125
再評価に係る繰延税金負債	869	821
支払承諾	873	926
負債の部合計	1,513,835	1,557,549
純資産の部		
資本金	23,497	23,497
資本剰余金	19,088	19,088
資本準備金	15,071	15,071
その他資本剰余金	4,016	4,016
利益剰余金	26,385	28,285
利益準備金	1,318	1,539
その他利益剰余金	25,067	26,745
別途積立金	2,832	2,832
繰越利益剰余金	22,234	23,913
自己株式	△108	△113
株主資本合計	68,863	70,757
その他有価証券評価差額金	4,231	2,152
繰延ヘッジ損益	△163	△795
土地再評価差額金	1,690	1,618
評価・換算差額等合計	5,758	2,976
純資産の部合計	74,622	73,733
負債及び純資産の部合計	1,588,457	1,631,283

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
経常収益	28,133	26,342
資金運用収益	22,854	22,685
貸出金利息	19,041	19,134
有価証券利息配当金	3,584	3,334
コールローン利息	0	△0
債券貸借取引受入利息	10	0
預け金利息	66	66
金利スワップ受入利息	34	51
その他の受入利息	117	98
役務取引等収益	3,109	2,036
受入為替手数料	351	346
その他の役務収益	2,758	1,690
その他業務収益	692	596
国債等債券売却益	692	596
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	1,476	1,023
株式等売却益	951	713
金銭の信託運用益	0	4
その他の経常収益	524	305
経常費用	22,730	21,590
資金調達費用	3,671	3,773
預金利息	3,364	3,566
譲渡性預金利息	0	0
コールマネー利息及び売渡手形利息	△12	△0
債券貸借取引支払利息	225	111
借用金利息	0	0
社債利息	40	25
金利スワップ支払利息	51	70
その他の支払利息	0	0
役務取引等費用	4,420	4,599
支払為替手数料	0	0
その他の役務費用	4,419	4,598
その他業務費用	618	22
外国為替売買損	33	20
商品有価証券売買損	0	0
国債等債券売却損	130	0
国債等債券償却	448	—
その他の業務費用	5	0
営業経費	11,488	11,165
その他経常費用	2,531	2,030
貸倒引当金繰入額	1,870	1,490
株式等売却損	68	120
株式等償却	1	125
金銭の信託運用損	465	54
その他の経常費用	125	239
経常利益	5,403	4,752

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益	4	15
固定資産処分益	4	15
特別損失	122	428
固定資産処分損	11	23
減損損失	110	404
税引前当期純利益	5,285	4,339
法人税、住民税及び事業税	1,794	1,585
法人税等調整額	312	△178
法人税等合計	2,107	1,407
当期純利益	3,178	2,932



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	23,497	15,071	4,016	19,088	1,097	2,832	20,548	24,478	△92	66,972
当期変動額										
剰余金の配当							△1,105	△1,105		△1,105
利益準備金の積立					221		△221	—		—
当期純利益							3,178	3,178		3,178
自己株式の取得									△15	△15
土地再評価差額金の取崩							△165	△165		△165
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	221	—	1,685	1,906	△15	1,891
当期末残高	23,497	15,071	4,016	19,088	1,318	2,832	22,234	26,385	△108	68,863

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,940	52	1,524	5,517	72,490
当期変動額					
剰余金の配当					△1,105
利益準備金の積立					—
当期純利益					3,178
自己株式の取得					△15
土地再評価差額金の取崩					△165
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	290	△215	165	240	240
当期変動額合計	290	△215	165	240	2,132
当期末残高	4,231	△163	1,690	5,758	74,622

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	23,497	15,071	4,016	19,088	1,318	2,832	22,234	26,385	△108	68,863
当期変動額										
剰余金の配当							△1,105	△1,105		△1,105
利益準備金の積立					221		△221	—		—
当期純利益							2,932	2,932		2,932
自己株式の取得									△5	△5
土地再評価差額金の取崩							72	72		72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	221	—	1,678	1,899	△5	1,894
当期末残高	23,497	15,071	4,016	19,088	1,539	2,832	23,913	28,285	△113	70,757

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	4,231	△163	1,690	5,758	74,622
当期変動額					
剰余金の配当					△1,105
利益準備金の積立					—
当期純利益					2,932
自己株式の取得					△5
土地再評価差額金の取崩					72
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,078	△631	△72	△2,782	△2,782
当期変動額合計	△2,078	△631	△72	△2,782	△888
当期末残高	2,152	△795	1,618	2,976	73,733